札幌報告会２０１８　挨拶

平成３０年８月２２日
幌延深地層研究センター 所長　山口義文

〇本日はお忙しい中、私どもの「札幌報告会」に足をお運びいただき、ありがとうございます。

〇センター所長を務めております山口と申します。
よろしくお願い申し上げます。

〇まず最初に、５月１６日に発生した瑞浪地下研の火災については、ご心配をおかけしておりましたが、７月２０日に瑞浪側で想定原因と対策を公表、併行して幌延側でも水平展開を行い問題の無いことを確認し、中止していた地下施設の見学も同日より再開いたしました。今後も、安全第一に研究及び理解促進活動を進めてまいりたいと考えております。

〇本日の報告会では、幌延深地層研究計画における平成２９年度の調査研究の成果を報告書として取りまとめましたので、平成３０年度の計画とあわせて報告させていただきます。また、報告に先立って、北海道大学の太田幸雄名誉教授に「温室効果のメカニズムと気候影響」と題した特別講演をお願いしています。

〇幌延深地層研究センターについては、中長期計画に基づいて策定した、平成２９年度調査研究計画が順調に進み、着実に成果をあげつつあります。これも、幌延町や北海道の地域の皆さまのご理解、ご支援の賜物と深く感謝しています。

〇幌延深地層研究センターが今後とも研究開発の中核的な拠点としての役割を果たし続けていけるように、国の方針や処分事業の進展状況などを見据えながら、柔軟性をもって研究開発に取り組んでいきたいと考えています。また、研究開発を進めながら将来の計画についても検討し、平成３１年度末までに、研究終了までの工程やその後の坑道の埋戻しなどを含む全体の計画を策定する予定です。

〇研究を進めるに際して幌延町および北海道との間で取り交わした三者協定が大前提ですので、「放射性廃棄物を持ち込まない」、「研究が終わったら地下の施設は埋め戻す」といった約束をしっかり守りながら公明正大に、かつ最大限の成果が得られるように進めていければと考えています。

〇今後とも、安全を第一に情報公開を徹底させながら、着実に研究開発を進めていきますので、引き続き、ご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願いします。

以上